

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」高井田駅前校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 15日		～ R6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	R6年 11月 15日		～ R6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者から主訴や利用者の現状をしっかりと聞き取りし、アセスメントを行うことで、より利用者の現状を把握した上での支援を行うことができる。</li> <li>保護者や利用者からの希望や、利用者のその日の様子に合わせて臨機応変に支援内容を変更することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校等の集団での利用者の様子が把握しにくいことから、定期的に小集団療育を行うことで、同年代や家族以外の他者との関わり方についてアセスメントを行っていく。</li> </ul>
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での利用者の様子の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に個別療育を行っており、集団での利用者の様子を見る機会が少ないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団療育などを定期的に行ったり、保護者や相談支援事業所、他事業所などから利用者の様子を聞き取りしたりすることで、集団での利用者の様子の理解に務める。</li> </ul>
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」高井田駅前校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

45

回収数

39

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	2	1	5	もっと利用日数を増やしたいので、職員の配置を増やしてほしい。	ご意見ありがとうございます。利用日数を増やしたいと今後も行っていただけるように支援を提供できるように取り組んでいきます。配置につきましては、ご意見を踏まえて検討していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	2		3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1		3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1		3		
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	6	8	15	集団との交流は集団のデイで行うため、別になくてもよい	ご意見ありがとうございます。地域との連携や活動する機会等につきましては、要望もふまえて検討していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37			2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	5	5	7		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	39					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	5	8	11		
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	3		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	5		5	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	1		2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	3	7	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	2	18	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1		4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	2		4	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37			2	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	5			
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」高井田駅前校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		小学校低学年児童など、支援や配慮が必要な利用者には、職員が付き添い、声掛けを行っている。	事業所内の通路と洗面所やトイレのドアには段差があり、スペースの問題もありバリアフリー化はできていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		平時の始業開始後には、清掃活動を行い、利用者が気持ちよく利用できるように環境を整えている。長期休暇中は、清掃時間をずらして実施している。	長期休暇中などで、受け入れ時間がイレギュラーな場合には、朝の清掃活動ができないことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者の特性や声の大きさ等に配慮しながら、同時間帯の利用者が安心して支援を受けられるように環境の整備を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待防止や感染症対策など、義務化されている法定研修の実施以外でも、発達研究所とも連携しながら、特性の理解や支援の質の向上に務めている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	来年度の義務化に向けて社内で作成は完了しているため、公表の準備を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	小集団での支援時や、担当指導員からの相談があった場合等には、適宜支援プログラムの立案をチームで行っている。	個別での支援の場合には、保護者の主訴と、利用者の様子をみながら担当が支援プログラムを行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	緊急対応が必要な場合以外には、毎日の職員朝礼で情報のすり合わせを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	支援の担当者または、児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	相談支援事業所から提案があった場合には参加している。日程の都合がつかない場合には、事業所の様子を文章で回答している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	保護者からの要望があった場合には実施している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	保護者からの要望があった場合には実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡帳や電話連絡等の方法で、家庭と自事業所の情報のやりとりを行っている。	自力通所をする利用者があるため、全員に対しての実施はできていない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	初回利用・契約時に説明を行う他、保護者からの質問があった場合には適宜回答を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者からの要望があった場合や、年度初め、長期休暇明けなど利用者や保護者の環境が変わる際には適宜面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram等のツールを使って、活動概要や事業所内の情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		基本的には支援中に飲食を行うことがない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				